

事業所における自己評価結果(公表)

※児童発達支援

公表:2022年5月11日

事業所名 八尾市立障害者総合福祉センター(児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	安全に過ごせるように適切な人数の利用ができるようにしています。	
	2	職員の配置数は適切である	67%	33%		保育士、看護職員、作業療法士が、それぞれの専門性を発揮しながら協力しあって、子ども達の支援にあたるように努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	フロア内の玩具は常に定位置に置き、子どもたちが見やすく、取りやすい位置に置いてあります。くつを置く場所等に、イラストや写真を配置し、分かりやすくしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	保育活動の際は、保育室以外にもトレーニングルーム、ジム、公園などを使用し、子どもたちが十分に遊びを楽しめる空間を提供できるようにしています。また子どもたちが帰宅後は毎日フロア清掃を行い、使用した玩具等消毒を行う、使用したマットや毛布の洗濯を行うなど清潔に保っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	保育士の他に作業療法士や看護職員と適時子どもの状態について、共有し、課題に対する取り組み等を一緒に考えるようにしています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	年に1回、自己評価表に記載し、集計し、ホームページで公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%	33%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	67%	33%	現在コロナ禍にあり、集合研修への参加は難しいが、個々にオンライン研修や新たな資格取得のための講座の受講などを行っています。また保育後に職員同士で話し合い検討する機会を設けています。	令和4年度は、施設内で年間を通して支援に関するワークショップを開催する予定です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	保育士、作業療法士と日々の子どもの様子を伝えあい、それぞれの専門職の立場から分析し、計画を作成している。定期的にあセスメントを見直しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	児童発達支援に携わる職員でのミーティングを実施し、アセスメントを行っています。また、保護者との日々の連絡、話し合い、聞き取り等の事情も踏まえて、必要な項目を選択した上で支援内容を示すようにしています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	個々の支援計画を踏まえて、接し方や使用する物品なども合わせて工夫し、日々の活動を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	ミーティングで、週の活動をよく話し合い決めていきます。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	アイデアを出しあい、話し合っています。季節に合わせて活動を考えています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	100%	0%	午前中は集団での設定保育を実施し、集団適応の力をはぐくむ取り組みを主にを行っています。午後は個人の生活ペースに合わせて、個別保育を行うようにしています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	その日の活動の内容、方法の打ち合わせを行っています。特に姿勢設定等、子ども達が活動しやすい環境を設定できるようにしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	振り返りで良かった点、改善すべき点を話し合い次回に生かせるようにしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	その日の様子をケース記録に残しています。また、気づいたこと、変化したことなどをメモを取り、ミーティング時に話し合うようにしています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	必要に応じて、保健所や児童発達支援センターとの情報共有を行っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%	保護者を通してや、必要に応じて医療情報提供書を依頼し、子ども達のケアに役立てるようにしています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	67%		現在のところ、移行支援は行っていないですが、必要に応じて、情報共有等を行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	67%	33%		現在のところ、移行支援は行っていないですが、必要に応じて、情報共有等を行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	市立児童発達支援センターと連携しており、姿勢設定や食事介助について等、助言をいただいています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	67%	67%		特に機会を設けていないが、地域の公園利用の際には、接する機会があります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	33%	67%		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や電話でのやり取りを行い、子どもの日々の小さな変化についてもお伝えできるようにしています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	33%	67%			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に書面で丁寧に説明を行っています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者からの相談等についてはいつでも応じることができるようにしています。連絡帳や電話、面談を通して行い、日々の様子を交えて助言しています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	電話や、連絡帳などで申し入れの返答をし、対応しています。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	半期に一度、子ども達の活動の様子を撮った写真をアルバムにし、お渡ししています。また、毎月のお知らせに活動報告や予定を載せ、活動の様子が分かるように努めています。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	鍵のかかる棚で保管し、もし破棄する際は確実にシュレッダーするなど注意しています。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	67%	33%		
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	67%	33%	コロナ禍の為現在行えていません。	
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	各マニュアルは策定されています。すぐに見られるように設置しています。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		33%	67%	防災の日などがある月は、絵本等で避難の仕方を知る機会を設けるなど取り組みを行います。	
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		100%	0%	半年に一度、アセスメントの更新を行っています。服薬事情も同じく保護者に依頼し、更新をしています。	
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		100%	0%	指示書を確認し、看護職や厨房と情報を共有しています。	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		100%	0%	伝達ノートに挟み必ず職員が確認するようにしています。	
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		67%	33%	必ず複数の職員で対応するようにしています。	
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		100%	0%		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。